



教育目標
 明るく思いやりのある子(きよく)
 進んで学ぶ子(かしこく)
 健康でねばり強い子(たくましく)

6月に新聞に掲載された作文は、6作品

今年度も子ども達の作文を新聞に投稿しています。6月に新聞に掲載された作文は、6作品です。学校での学習の様子や日頃の生活の様子が表現された素敵な作品となっています。

3人の芸術家

5年 山内太喜
 アーティスト・イン・レジデンスとは、芸術家の人が、ある土地に一定期間滞在し、そこに住む人々と関係性を持ちながら自身の作品制作をしたり、また協働して何かの作品をつくりあげる滞在型文化交流プログラムです。
 今回は、タウン・ワトユヤさん、ダニエル・ロペスさん、セドリック・プレナルさんの三名のアーティストが松田小学校に来て、ぼくたちに絵の描き方を教えてくれました。



ぼくは、木炭と消しゴムを使って、自分が想像している木をかくことを教えてもらいました。木の描き方でびっくりしたのは、最初に、木炭で画用紙全体を真っ黒にぬりつぶしたことです。それから、消しゴムを使って、消して木を描いたのです。消しゴムも形を自由に変えられる不思議な消しゴムでした。ぼくは、セドリック・プレナルさんが教えてくれたこの不思議でおもしろい木の描き方を通して、自分は想像力がぜんぜんないと思っていたけど、少しはイメージを広めることができたと思いました。
 (琉球新報 6月3日掲載)

ネットの正しい活用

4年 宮城湊
 今日、LINEやネットのいじめを防ぐための「情報モラル講演会」が多目的ホールで行なわれました。



最初に高宮城さんが、ユーチューブの話をしてくれました。ユーチューブは十三才未満の動画のけいさいは禁止されているのに、小学生の男の子がそれをやぶって、自分の顔やお家が公開されて、大変なことになってしまったということでした。僕は、じょうだんでやったことが、こんなにも大きなことになるんだとびっくりしました。次に話してくれたのは、ネットでのいじめです。ネットでは、友達の悪口をかんたんに書く人がいますが、それはめいよきそんなどの犯罪だと言うことを初めて知りました。今日のいじめの話から、友達の大切さも感じる事ができました。将来、僕は、スマホやタブレットを使うようになると思います。その時は、きちんとマナーを守り、LINEやネットを楽しく活用できるようになりたいと思います。
 (琉球新報 6月8日掲載)

ぐらぐらのは めけた

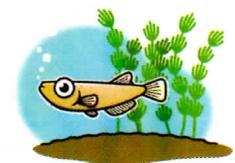
2年 たはらまひろ



今日、おうちでおばあちゃんに「わたし、はがとれそうだよ。」と、ぐらぐらしているはを見せました。するとおばあちゃんが、「おばあちゃんが、はをとろうか?」と、いいました。わたしは、びっくりして「いやだ。」と、いいました。おばあちゃんは、「あー。」と、いいながら、ぐらぐらするはをとったのです。はをとられたのに、いたくありませんでした。めけたので、うれしくなりました。また、ぐらぐらするはがあると、おばあちゃんが、ぬくかもしれないです。
 (沖縄タイムス 6月9日掲載)

めだかの卵を両親に見せた

5年 比嘉恵佑



「きんちょうするなあ。」今日は、日曜授業参観日です。たくさんのお父さん、お母さんが二階にも上がってきているので、ぼくはとてもきんちょうしていました。しかし、二・三校時は、好きな理科の授業で理科室に移動したので、きんちょうが、少しだけほぐれてきました。理科の授業では、顕微鏡を使って、めだかの卵を観察しました。きちんと卵の中まで見えるように、ピントを調節しました。中の動きが見えると、お父さん、お母さんにも見せてあげました。めだかの卵の観察はとてもおもしろかったので、授業参観だということも忘れていました。お母さんにもぼくの授業のいい所を見てもらったことができたので、うれしかったです。
 (沖縄タイムス 6月10日掲載)